

Press Release

2014年8月5日
メドピア株式会社

「最初に医師を志した時期」について 半数近くは、高校生のときに医師を志した

医師約70,000人以上が参加する医師専用サイト「MedPeer」（メドピア、<https://medpeer.jp>）を運営するメドピア株式会社<東京都渋谷区、代表 石見陽（医師）>は、会員医師を対象に「最初に医師を志した時期」についてのアンケートを実施し、以下のとおり、結果を取りまとめました。

医師専門サイトMedPeer調査結果：「最初に医師を志した時期」について（総回答：3,918人）

順位	回答	回答数（人）	占有率
1	高校生のとき	1,814	46.3%
2	小学生のとき	857	21.9%
3	中学生のとき	549	14.0%
4	小学生未満のとき	257	6.6%
5	（医学部以外の）専門学校・大学・大学院生のとき	130	3.3%
6	医学部のとき	111	2.8%
7	社会人になってから	71	1.8%
8	その他	129	3.3%
-	合計	3,918	100.0%

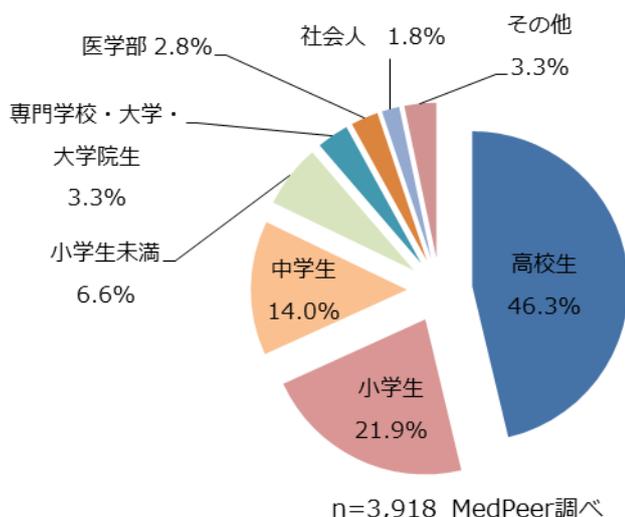
サマリー：

- 医師専門サイトMedPeer（メドピア）に登録する医師（70,000人以上）を対象に「最初に医師を志したのはいつ頃ですか？」という質問をしたところ、**3,918**件の回答が寄せられた。
- 最も多かったのは、「高校生のとき」で、46.3%だった。大学受験前に将来の職業について真剣に考える

ことが多いようだ。「サラリーマンになりたくなかった」「女子1人で生活していくため」といった回答があった。「友人の影響」という声もみられた。

- 「小学生のとき」は21.9%、「中学生のとき」は14.0%だった。「母が病気がちだった」「野口英世やシュワイツワーの偉人伝を読んでから」「父が医師なので」といったコメントがみられた。
- 「小学生未満のとき」と回答したのは、6.6%。「開業医の子供だったので」「小児喘息があったから」「往診してくれた先生に憧れて」「祖父が胃癌になったことから」といった理由が挙げられている。

▼総合結果



回答コメント（回答一部を抜粋）

「高校生のとき」 1,814件

- ・ 高校生の時でしたが勉強嫌いで挫折。その後紆余曲折をへてサラリーマン後医学部入り直しやっと医師になれました。（60代、一般内科）
- ・ 科学者になりたかったのですが、人体に興味が出たのが高校生の頃です。（50代、一般内科）
- ・ 進路を迷っていたときに医師の義兄から勧められた。（70代、産婦人科）
- ・ 実家が開業医だったのですが、本気で志したのはこれくらいの時期です。（50代、一般内科）
- ・ 今でいう数学オリンピック級の同級生がいてとても敵わないと観念してから。（50代、麻酔科）
- ・ 大不況だったので、確実に食べていけそうな職を選ぶしかなかった。（30代、眼科）
- ・ 高校生の時、やさしくしてくれていた叔母が某大学病院に入院しました。見舞いに行った時に医師の皆さんの姿を見て自分も医師になってここで仕事したい、と思いました。（50代、消化器外科）
- ・ サラリーマンにはむいていないと思い医学部受験をきめました。（50代、皮膚科）
- ・ 高校卒業後、志望の大学受験に失敗してから、突然に進路変更して医師を目指すことになりました。（30代、耳鼻咽喉科）
- ・ 親友が「医者になりたい」と言い出して触発された。（40代、血液内科）

「小学生のとき」 857件

- ・小学校2年生の担任に「あなたは医者に向いている。将来医者になりなさい」といわれ、その時から。(50代、一般内科)
- ・ブラックジャックの影響がよかった…。未だにOPEが好きです。(50代、産婦人科)
- ・親が医者と言う家系ではないですが、何となく医者になって人助けがしたいと小学1, 2年の頃から思っていました。(40代、精神科)
- ・祖母がいつも、孫のなかから誰か医者になってほしいと希望していたので。(50代、消化器外科)
- ・周りから勧められたことはないのですが、自分の家庭も親戚も医師だったので、その影響をうけた結果と思います。(60代、老年内科)
- ・小さいときから体が弱く、病院通いがたえず、医者になろうと思った。(60代、脳神経外科)
- ・女性で自立できる職業を考えました。(40代、代謝・内分泌科)
- ・祖父が町医者をしていて、里帰りの時にその姿を見て憧れました。(40代、眼科)
- ・小学生2年の時、6か月小児科病棟に入院していました。その時の主治医の先生に憧れて、将来は医師に成りたいと思いました。(50代、放射線科)
- ・小学校2年生の時怪我をして医師に診てもらった時に親が安堵した顔をしたので、こんなに安心させることができる職業はいいなと思った時からです。(50代、泌尿器科)

「中学生のとき」 549件

- ・まあまあ成績が良かったので周りから進められて意識しました。(50代、小児科)
- ・親が開業医でしたが、予後のよくない病気でありそのころ医師になろうと漠然と思った。(60代、消化器内科)
- ・入学した中学は医歯薬系志望が多く、周りの流れに飲み込まれた具合。(40代、脳神経外科)
- ・治らないと思っていた病気を市民病院で治療してもらい、医療は素晴らしいと感じた。(60代、消化器外科)
- ・ルワンダの内戦の時、国境なき医師団の活動を知り、自分もそういう誰かの役にたつ仕事してみたいと思った。(30代、呼吸器内科)

「小学生未満のとき」 257件

- ・小さい子供の頃から親や親戚にずっと言われ続けて、刷り込まれてしまいました。(50代、一般内科)
- ・家で開業医の父が働いているのを見て、自分でもできるとおもったので。(40代、整形外科・スポーツ医学)
- ・シュバイツァー博士の偉人伝を、幼稚園で読み聞かせしてもらったとき。(50代、一般内科)
- ・卒園の寄せ書きに書いていました。多分その当時祖父が入院していたからだと思います。(30代、小児科)
- ・物心ついた頃より、母が病弱だったこともあり病院は常に近い存在でした。(40代、精神科)

「(医学部以外の) 専門学校・大学・大学院生のとき」 130件

- ・浪人中、理学部では飯を食っていくのは大変だと、先輩を見ていて気付かされた時。(50代、一般内科)
- ・奨学金の返済を考えて博士課程2年目で考えて入学しました。(50代、精神科)
- ・大学(法学部)に入学後、医学部の上級生と話をする機会があり、それがきっかけとなって医学部再受験を志した。(50代、一般内科)
- ・別の大学を出て社会人になり、そこでいい先生と出会い、医師になることを勧められた。(60代、神経内科)

- ・大学で生命科学、特に免疫を学び理学から医学へと興味が偏移し、医師を目指しました。(30代、小児科)

「医学部のとき」 111件

- ・入学した頃は基礎系に進もうと考えていました。卒業が近づくにつれて、若いうちの臨床経験が必要だと感じるようになりました。(50代、一般内科)
- ・受験するまでは、高いところを目指すという偏差値意識が主でしたが、入ってから医療・医療倫理というものが徐々に染み込んだ気がします。(30代、神経内科)
- ・なんとなく医学部に入って、卒業間近に医師になる決心をしました。(60代、精神科)

「社会人になってから」 71件

- ・姉の病気がきっかけで、社会人になって、1年半で退職し、受験勉強をやり直しました。(60代、老年内科)
- ・薬剤師からの転向です。(50代、救急医療科)
- ・会社勤めを約3年して25歳で医学部に入りました。(50代、一般内科)

※調査方法

□期間：

2014年7月14日（月）～ 2014年7月20日（日）

□有効回答：

3,918人（回答者はすべて、医師専門サイトMedPeerに会員登録をする医師）

□設問：

医師専用サイト MedPeer内の「ポスティング調査」コーナーにおいて、医師会員からご投稿頂いたテーマをもとに以下の質問を投げかけました。

調査フォーム（設問文 抜粋）

MedPeer会員の皆さまが、最初に医師になりたいと思ったのはいつ頃でしょうか。
最初に医師を志した理由は、漠然としたものでも、綿密な人生設計に基づいたものでも構いません。

以下の選択肢より適当なものをご選択いただき、コメント欄になぜそのタイミングで医師になりたいと思ったのか、そのきっかけをご入力ください。

1. 小学生未満のとき
2. 小学生のとき
3. 中学生のとき
4. 高校生のとき
5. 医学部のとき
6. （医学部以外の）専門学校・大学・大学院生のとき
7. 社会人になってから
8. その他

【本件に関するお問い合わせ先】

メドピア株式会社 管理部 TEL：03-6805-0345 / e-Mail：pr@medpeer.co.jp

【記事掲載に際してのお願い】

- ・「医師専用サイト MedPeer 調べ」、であることの明記をお願い致します。
- ・web 上での引用に際しましては、<https://medpeer.jp> へのリンクをお願い致します。

■MedPeer（メドピア）とは - 2014年6月時点 -

MedPeer は、メドピア株式会社が運営する、医師専用のインターネットサイトです（URL: <https://medpeer.jp>）。
会員医師同士による情報共有サービス「薬剤評価掲示板」や、特定疾患治療に関するエキスパート医師による情報提供「Meet the Experts (MTE)」、有名臨床指定病院の所属医師参加のオンライン症例検討会「インタラクティブ・ケース・カンファレンス」などを MedPeer 上に設け、「臨床の決め手がみつけるサイト」として、多くの医師に利用されています。現在の会員は 70,000 人以上で、日本の医師の約 4 人に 1 人が利用するサービスです。また、「薬剤評価掲示板」では、

約 2,000 の医療用医薬品に対して、30 万件以上の医師会員による処方実感、クチコミ評価が投稿されています。

以上